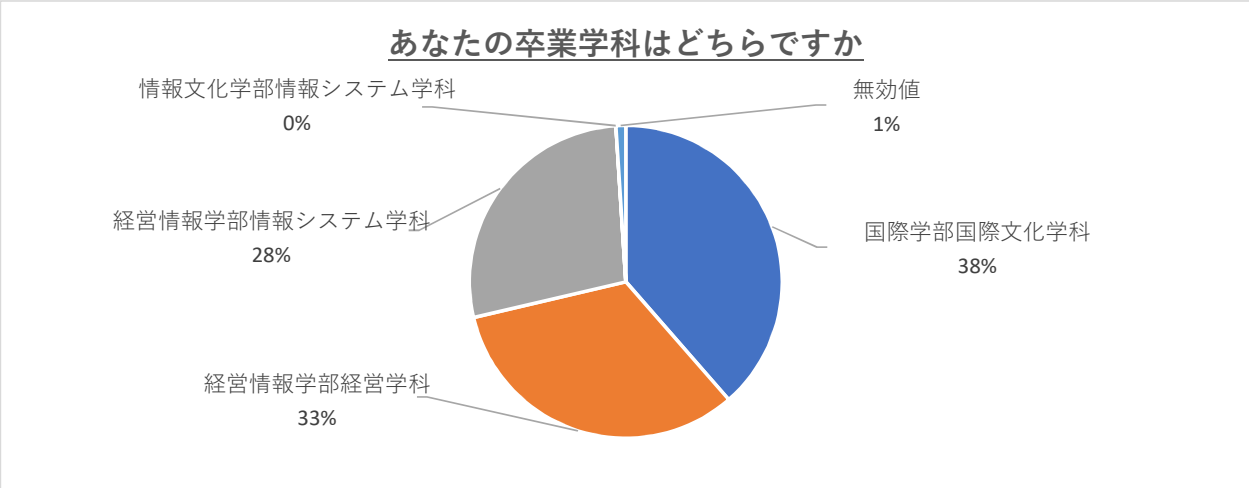
令和４年度　卒業生アンケート

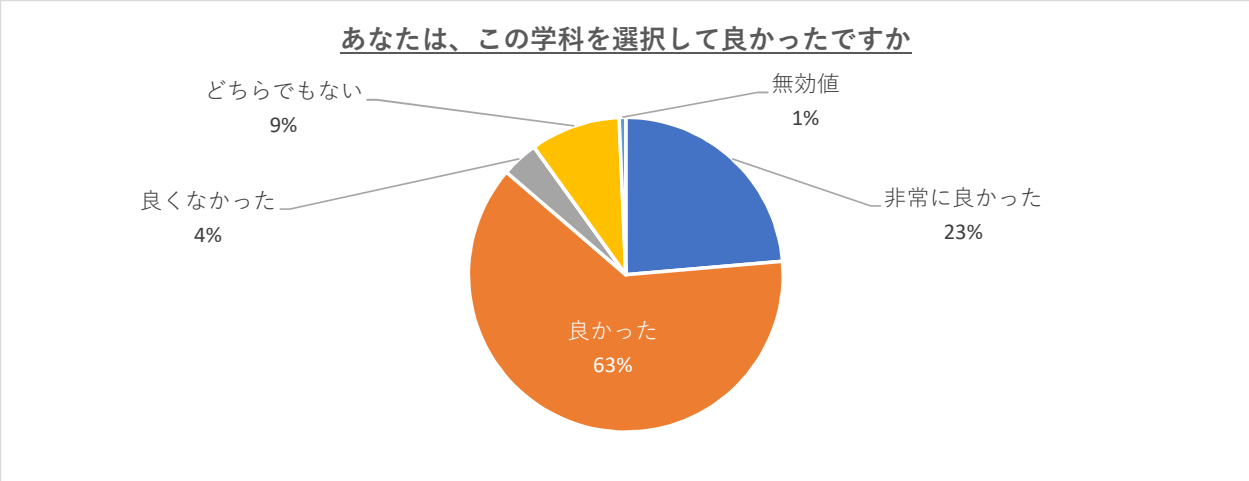
実施期間	令和４年１１月下旬～令和５年１月中旬			
対象者	２９８名	内訳	国際学部　国際文化学科	４年次生（１１５名）
			経営情報学部　経営学科	４年次生（１００名）
			経営情報学部　情報システム学科	４年次生（８１名）
			情報文化学部　情報システム学科	４年次生（２名）
回収数	２９３名			
回収率	９８％（小数点以下切捨）			
補正後回収率	９５％（小数点以下切捨）※卒業見込者から卒業不可者を除く（９名）			

アンケート結果（抜粋）

あなたの卒業学科はどちらですか



あなたは、この学科を選択して良かったですか



86%の学生から、所属した学科は非常に良かった、または良かったと回答があった。なお、同項目における昨年度の実施結果は91%、一昨年度は87%であり、引き続き高い割合で推移している。学生からの満足度は総じて高いと読み取ることが出来るのではないか。

新潟国際情報大学で、よく学べたものはなんですか？（複数回答可）

※学科ごとに、上位5項目を抽出した。

国際学部 国際文化学科

選択肢	比率
国際社会の理解	69%
英語	44%
異文化理解	35%
ＣＥＰ	28%
韓国語	19%

経営情報学部 経営学科

選択肢	比率
経営と組織	63%
情報システム	20%
情報化の理解	17%
人間と社会	16%
情報処理演習	16%

経営情報学部 情報システム学科

選択肢	比率
情報システム	57%
情報処理演習	51%
情報化の理解	45%
情報システム演習	45%
コンピュータと通信	39%

回答結果を学科ごとに分けてみると、学科の特徴が数字に表れていることが分かる。特に国際文化学科では約7割という多くの学生が「国際社会の理解」についてよく学べたと回答している。一人あたりの回答における平均選択個数を見てみると、国際文化学科では一人あたり2.74個、経営学科は1.89個、情報システム学科では3.33個であった。特に情報システム学科は全学科で一番多い平均選択個数であったが、各選択肢間の比率については大きな差はないことから、複数の項目にわたって広く学べたという実感を持った学生が多かったのではないか。

在学時に取得した資格（検定）はありますか？（複数回答可）

国際学部 国際文化学科

選択肢	比率
MOSスペシャリスト	74%
実用英語技能検定	28%
TOEIC	18%
無回答	13%
その他資格（検定）	10%
MOS Expert	4%
ハングル能力検定	3%
秘書検定	3%
中国語検定	1%
韓国語能力試験TOPIK	1%

経営情報学部 経営学科

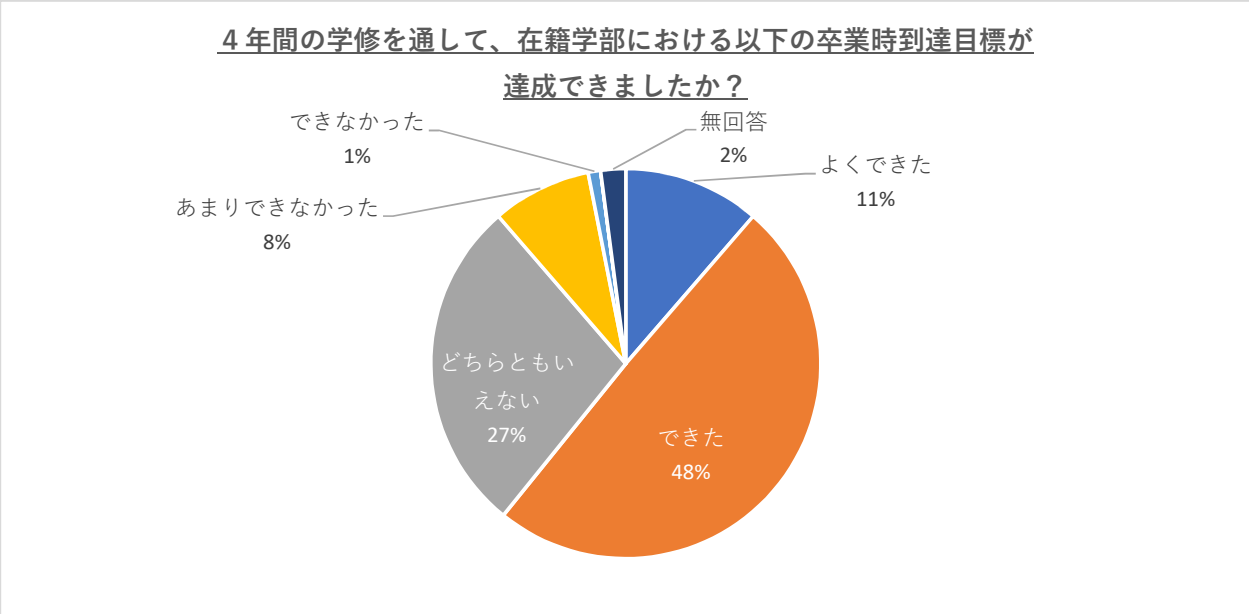
選択肢	比率
無回答	72%
日商簿記検定	14%
ITパスポート試験	7%
MOSスペシャリスト	6%
FP技能検定	4%
その他資格（検定）	3%
秘書検定	2%
MOSエキスパート	1%
TOEIC	1%

経営情報学部 情報システム学科

選択肢	比率
無回答	72%
ITパスポート試験	14%
JABEE	13%
その他資格（検定）	4%
基本情報技術者試験	3%
MOSスペシャリスト	2%
TOEIC	2%
MOSエキスパート	1%
中国語検定（HSK）	1%
日本漢字能力検定	1%

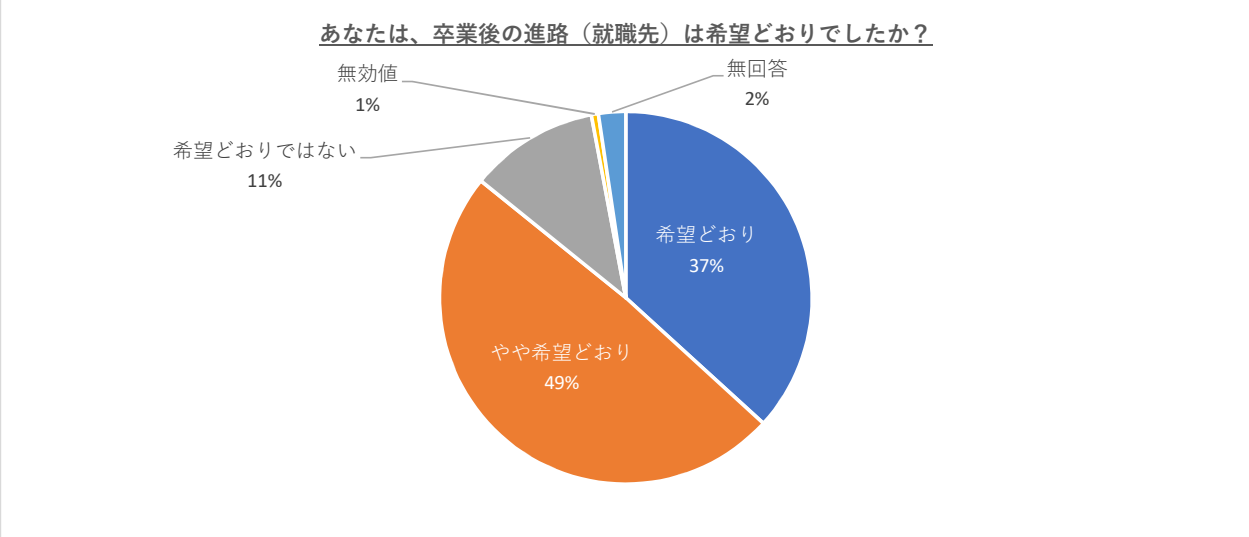
こちらの結果も同様に、学科の特徴が表れている。国際文化学科は語学、経営学科は会計、情報システム学科は情報系の資格取得比率が高い傾向にある。また、本学のカリキュラムにあるように、社会人における実務のベースとなるMicrosoft Officeアプリケーションの操作修得「MOSスペシャリスト、エキスパート」取得に全学あげて取り組んでいるところであるが、その結果も数字に表れていると言えるのではないか。
なお、在学時に取得した資格（検定）について、本調査結果では学生から回答があった結果をそのまま反映していることから、実際の資格（検定）取得比率とは、ずれがあることを補足する。（なお、本学では資格取得奨励奨学金を用意しており、指定した各種資格・検定試験に合格した学生に奨学金を授与している。授与数は本学ホームページの「NUIS早分かり」にて公開しているので、参照されたい。）

４年間の学修を通して、在籍学部における以下の卒業時到達目標が達成できましたか？



本調査実施時に、回答用紙と一緒に卒業時到達目標（ディプロマ・ポリシー）が印字された用紙を配布し、達成具合を聞いた。卒業時到達目標（ディプロマ・ポリシー）について、「よくできた」と回答した学生は昨年度より1%増加した。また、達成できた（「よくできた」「できた」の回答合計）では、昨年度は62%、今年度は合計59%の学生が達成できたと回答した。一方、27%の学生は「どちらとも言えない」と回答し、また「あまりできなかった」「できなかった」という認識の学生は合わせて9%いることが明らかとなった。引き続き全体的な底上げへの努力を続けていきたい。

あなたの、卒業後の進路（就職先）は希望どおりでしたか？



本調査実施時点（令和4年11月下旬～令和5年1月中旬）の調査結果である。昨年度に引き続きコロナ禍における就職活動であったが、少しづつアフター・コロナ、ウィズ・コロナを見据えた社会活動に移行する動きが見えてきた時期でもあった。調査時点では、希望どおりもしくはやや希望通りの回答が86％で昨年度比9%増加した。

本学ではキャリア支援課を中心に、本アンケート実施以降も引き続き就職活動における学生サポートを実施しているところである。